

2018年11月7日

報道関係 各位

熊本学園大学 広報室

熊本学園大学 × 熊本市西区**大学生が熊本市西区の地域活性化を考える
ワークショップ「クマガク☆にしくソン」を
11月11日（日）に開催**

熊本学園大学経済学部境章（さかい あきら）研究室は、熊本市西区に協力し、地域活性化に向けたアイデア創出を行う「クマガク☆にしくソン」を11月11日（日）に開催します。これは、本学と熊本市の包括的連携協定に基づくもので、人口減少・高齢化や耕作放棄地などに悩む西区の依頼を受け、学生が地元企業、自治体関係者とともに、地域の継続的な発展のために何をすべきかをワークショップ形式で考えるものです。

「クマガク☆にしくソン」の名称は、「クマガク（熊本学園大学）」と「にしく（西区）」、そして、さまざまな立場の参加者が集まり課題解決に向けたアイデアを出しあい“続けて”まとめていく「アイデアソン（アイデア+マラソン）」をかけたもの。

情報科学を専門とする境教授の研究室では、これまで、西区が推進している国指定史跡・池辺寺跡を活用した観光開発に協力。現地でフィールドワークを重ね、池辺寺の歴史に関する情報発信や地元特産品を使った食の商品開発の提案などを行ってきました。境研究室ではオープンデータを活用した地域創生をテーマに活動しており、以前より熊本県内の4つの自治体（菊池市・山都町・美里町・宇城市）の課題解決を考える「ひのひとソン」（2017年5月～）や、熊本の鳥獣害対策を県や農家ハンター、地域住民と考える「ひのヒットデータソン」（2017年10月～）を開催するなど、学生と地域住民による課題解決のためのワークショップを実施してきました。これらの活動は、一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会が実施する「アーバンデータチャレンジ（UDC）」の地域拠点に選定されており、学生が提案した「ジビエの6次産業化」などの一部内容は実現に向けて動き出しているものもあります。今回、西区と行うワークショップもUDCの一環です。

よろしければ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。

「クマガク☆にしくソン」開催概要

- | | |
|------|--------------------------------------|
| ■開催日 | 2018年11月11日（日）13:00～17:30（受付 12:30～） |
| ■場 所 | 熊本市西部公民館 会議室（熊本市西区小島2丁目7番1号） |
| ■参加者 | 学生約20名、地元企業、自治体関係者 |
| ■主 催 | 熊本学園大学経済学部 境章（さかい あきら）研究室 |
| ■共 催 | アーバンデータチャレンジ（UDC） |
| ■協 賛 | NEC ソリューションイノベータ（株）九州支社 |



きみと未来をつなげる

クマガク

本リリースについてのお問合せ

熊本学園大学 広報室

Tel 096-364-8722・Fax 096-364-6526